

第6回 村岡新駅周辺地区まちづくりコンセプトブック作成有識者会議

議事概要

日時： 2023年（令和5年）7月3日（月）9：00～11：15

場所： 藤沢市役所 分庁舎 6階 6-3会議室

出席： <学識経験者・有識者>（◎=会長、敬称略・会長以外五十音順）

◎中島 直人 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 准教授

有吉 亮 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所
社会的価値研究部門 特任准教授

石山 さつき 都市プランナー／慶應義塾大学環境情報学部 非常勤講師

高松 誠治 スペースシンタックス・ジャパン株式会社 代表取締役

<藤沢市>

青木 将徳 経済部参事 産業労働課長

森井 壽浩 計画建築部 都市計画課長

<事務局>

都市整備部 都市整備課

昭和(株) (株)フロントヤード)

議題： ①今年度の進め方について

②ビジョン編とりまとめ状況について

③アイデア編、ルール編について

（会議での意見）

・今後、最終の形にレイアウトしていく際に、現在の内容をどの程度踏襲するかが大事、現状では情報が多すぎて伝わりづらくなっている。全体をデザインする必要がある。

・建物の高さをどのようにランドスケープ的に考えていくかがポイントになる。建物が突出し、それが村岡の新しいまちになるのではなく、地形、ランドスケープの中にフィットしてまちができる必要がある。

・ルール編で北側と南側で異なる規制やコントロールを入れることはあるが、アイデア編としては全体をもう少し総合的に俯瞰してみる、マクロの視点が必要である。

・アイデア編では創造性を失わせないくらいの幅を持たせた書き方をして、事業者のクリエイティビティで、すごく良いものがでてくることに期待したい。そのために、「村岡はこういうコンセプトのエリアで、そこをちゃんと考えてもらいたい」という話を、絵や図面を使って示していくことが重要。

・大きなビジョンとして創造的なまちづくりというのがある中で、創造的なアイデアが生まれ、それがより良いまちづくりに繋がるというストーリーを重視したほうが良い。